

他団体との連携に関する情報

登録番号	団体名	(N) 若葉まるまる部
938		
1. 他団体との連携の希望	できれば連携したい	
2. 連携を希望する相手	行政 企業 他の市民活動団体 学校	
3. 連携する場合、団体が提供できるもの（こと）	スキルを持った人材を派遣できる。 〔スキルの内容：Scratch などのプログラミング講師やボードゲームのゲームマスター〕 知識やノウハウを提供できる。 〔知識やノウハウの内容：Scratch などのプログラミング講師やボードゲームのゲームマスター〕 資機材の貸出しができる。 〔資機材の内容：パソコン、タブレット、ペンタブレット、ボードゲーム〕	
その他		
4. 他団体と連携する際、相手方に費用負担を求めるか	求める 〔※内容や金額、条件等：NPO 法人の仲間として別箇所で開催したいという場合は、無償で提供します。別団体でノウハウや資材の貸与を求める場合は寄付をお願いしております。〕	
5. 他団体と連携した実績（事例）や今後連携する予定	連携相手（団体等の名称）	
	連携内容	
みつわ台祭り実行委員会	2019 年夏祭りにおける生配信。	
神田外語大学	プログラミング作品発表会のプレゼンテーション DAY の共催。	
稲毛こひつじ園	フードバンクの提供	
6. 他団体と連携して行いたい取組の内容	連携相手	
	連携して行いたい取組の内容	
学校	学校外における地域 ICT クラブ普及の推進事業、可能であれば総務省の「地域における IoT の学び推進事業」を行政と協議会が作りたい。	
他の市民活動団体や NPO 法人	みつわ台会議同様の連携を促し、地域で活躍する方の情報を交換し、手伝えることを手伝いながら一緒に活動していく同志を作る。	
行政	どこでもこどもカフェ同様に実証実験などに協力し、民間企業事業所と NPO 法人の活動のシェアリングエコノミーの実現の後押しを頂きたい。	

他団体との連携に関する情報

7. 他団体と連携することについての考えや、連携する際の課題など。

とてもよいことだと思います。フラットにお互いがお互いの団体のために GIVE ができる状況が大切だと考えてます。みつわ台会議で3年間いろいろな団体が入り混じって協力していった実績があるので、少しずつ協力できる仲間を増やし、より活動の幅を広げられればと思います。